

# 漫湖水鳥・湿地センターだより

## 2004年 第8号

発行：漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会（環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市） 2004年2月20日

### 新春漫湖探鳥会

1月24日(土)  
参加人数:28人  
講師:又吉 勇先生  
宮城国太郎先生  
(沖縄野鳥の会)



寒い!  
ここはシベリア?  
いえいえ沖縄です。  
本当かな



鳥はかわいい! 不思議も  
いっぱい! たとえばカワセミ。  
青い羽は、青空の色。  
胸のオレンジは枯葉や幹の色。  
魚にわからないようにしている  
よく出来ていると思わないか?



今日はズグロカモメが  
いましたね。  
この絵は夏羽。  
夏になると頭が真っ黒  
になるんだよ



ユリカモメやアカアシシギが  
近くまで来てくれたよ。  
その他、カワセミ・アオサギ  
など15種確認できました



1月24日(土) 参加人数:16人

### クロツラヘラサギ 衛星追跡調査についての説明会

環境省では、日中クロツラヘラサギ共同調査の一環として日本で越冬するクロツラヘラサギの渡り経路を明らかにし、生息地の保全策を検討するために、県内のクロツラヘラサギに人工衛星用の送信機を装着することとなりました。そこで、当センターにて説明会が行われました。

調査時には地元の人を動員し、より安全で確実な調査にすることを望むなど活発な意見交換を行うことが出来ました。



	ダイサギ	チュウサギ	コサギ	アオサギ	オナガガモ	ミサゴ	ハヤブサ	バン	シロチドリ	メダイチドリ	オメダイチドリ	ムナクロ	ダイセン	トウネン	ハマシギ	アカアシシギ	アオアシシギ	キアシシギ
1/9	10		7	17		2						35	15			11	48	
1/16	15	1	4	20	2	3	1		3			70	26		2	23	33	
1/18	11		8	41					13	6	1	187	17	6		23	42	2
1/28	2		1	19	18			1	60		1	167	7	12		33	57	

<漫湖野外観察ノート>

	イソシギ	オオソリハシシギ	ダイシャクシギ	チュウシャクシギ	セイタカシギ	ユリカモメ	スグロカモメ
1/9	5		15	2		11	4
1/16	2	2	14	9	2	14	4
1/18	3	2	8	12		9	3
1/28	4	2	11	3		10	3

- 1月 7日 マングース10匹確認。漫湖には何匹いるのだろうか？
- 1月 9日 カウント時にハマシギ、シロチドリなどがいない。どこに行ったのだろうか？観察のタイミングが悪かったのかな？
- 1月16日 ハヤブサ登場。一斉に鳥が飛ぶ。狩は失敗し、とよみ大橋の一番上に止まる。チュウシャクシギなどにちょっかいをかけていた。
- 1月18日 クロツラヘラサギー斉調査の日。漫湖での確認は0。残念だ。

とよみ大橋からの定点観察より(水鳥のみ)

おもしろ発見！  
～管理日誌より～



- 1月 4日 仕事始めです。クロツラヘラサギ1羽が新年のごあいさつに来ました。
- 1月10日 コサギが足でエサを探しながら動き回っている光景を見て楽しい。
- 1月11日 クロツラヘラサギ5羽。お久しぶりね。若様のような様子でした。
- 1月12日 ダイシャクシギは普段は威張っている感じがしたが、水が満ちてきたためマングローブにしがみついている。その下を悠然とユリカモメが飛んでいる。ユーモラスな光景。
- 1月15日 セッカが元気に鳴いているのが事務所まで聞こえる。久しぶりにオオソリハシシギ登場！
- 1月23日 センター入り口の電線にシロガシラが100羽以上整列。朝礼？すずめの学校？いや、シロガシラの学校かな
- 1月28日 今日シロガシラが整列。中に赤く色をつけられたシロガシラがいた。

# 湿地はふるさと

～アジア湿地子ども交流会に参加して～

センター職員 広川 ヨシ子



「みどりの生命、美しい大地、湿地はわが家・・・、自ら先に立って、湿地保護を訴えていきたい。」「鳥の声が聞こえますか。」“From the Mountain to the Sea Wetlands at Work for Us”

「自分が今置かれている立場、高い山から海まで“湿地”があることを幸せと思い、日々生活していく姿勢、“湿地”は私たちの母親であり生命の源であるという、自然の大きなシステムの中で生かされていること」のメッセージ。自分の国をこれほど誇りにし、幼いころから自然に対してのときすまされた感性が会場内に熱く伝わってきました。

今年もアジア湿地ウィークのメインイベント「アジア湿地ウィーク：韓国・中国・日本子ども湿地交流(2004年1月16日～18日)が韓国の釜山市で行われました。この交流会に日本代表4校のうち1校として、とよみ小学校の中山友理恵さん(6年生)と指導教諭の仲程栄子先生が参加しました。



「マングローブ染めもできたよ。」と発表する友理恵さん

私たちとよみ小学校の中山友理恵さんの発表は、外国の子供たちのようにダイナミックさは見られなかったが、一つ一つ具体的な作品を通して、発表していたので、これもかなりいい評価を得ました。それと仲程先生の総合学習の実践発表は、今何を伝えたいのかが明確にされており、教師発表の中で、すばらしい評価をいただき、中国や韓国の方々からも質問されました。

夜は子ども達だけの宿泊もあり、寒い中でのキャンプファイアーも楽しんだようです。

このようにして、アジアの子ども達が自国の湿地の環境について、情報や考えを伝え合い、共有していくことがラムサール条約にうたわれている「ワイズユース(賢明な利用)」ではないでしょうか。



ウーポ湿地で「アニョハセヨー」釜山大学教授

ゴミ問題は世界で今、大きな問題となっていることも切実にとらえていかなければならないし、そして動き出すこと等……。

韓国での3日間、私たちをお世話して下さった釜山大学の先生、終始笑顔と礼節の心で接していただいた姿が今でも思い出され、さすが儒教の国だなあと感動を覚えます。

最後に、このようなすばらしい企画して下さったラムサールセンターの中村主事をはじめ、平井さんその他スタッフの方々、大変お世話になり感謝の念でいっぱいです。心よりお礼を申し上げます。

自然のすばらしさをたくさん見つけたい、広めたい、そして考えたい。

# ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

< 団体利用状況 1月 >

●保育園・幼稚園
報恩幼稚園
聖マタイ幼稚園
●小学校
高嶺小学校5年生
とよみ小学校4年生
●中学・高校
真和志高校
古蔵中学校1年生
●専門学校
SOLA 専門学校
●その他の教育関係
上田小学校1年家庭学級
島尻教育研究所研修
とよみ小学校エコクラブ
●医療・福祉関係
天久台病院
●その他
自然再生事業
那覇市高良自治会
歴史を遊ぼう会
いたせりつくせり沖縄周遊3日間(近畿ツアー)
豊田市役所河川課
西崎ガールスカウト35団

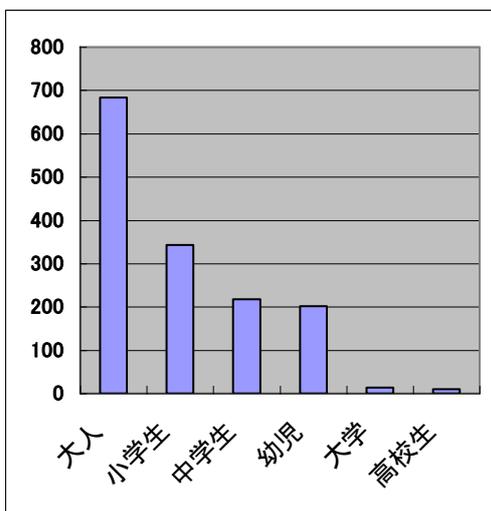
総入館者数  
**19,520人**



クロツラヘラサギ  
のクロン君

1月の入館者数  
**1,550人(カウンター数より)**

< 年代別入館者数 >



< 市町村別入館者数 >

	市町村名	人数
1	那覇市	777
2	豊見城市	323
3	東風平町	17
4	糸満市	13
5	南風原町	13
6	西原町	13
7	宜野湾市	13

※県外 116人

沖縄の冬も寒い! 風があり体が冷える。体感温度は低いのである。つついストーブを買ってしまった。  
しかし、ひとたび光が差すとたちまち暖かくなる。そんな日、鳥たちはのんびり日光浴をしている。なんとも幸せそうである。



宮城 靖子

## < 漫湖水鳥・湿地センター >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: [manko\\_mizudori@ybb.ne.jp](mailto:manko_mizudori@ybb.ne.jp)

HP: [http://www.geocities.jp/manko\\_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)